

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第57期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	石垣食品株式会社
【英訳名】	ISHIGAKI FOODS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石垣 裕義
【本店の所在の場所】	東京都千代田区飯田橋1丁目4番1号
【電話番号】	03-3263-4444
【事務連絡者氏名】	経理部経理課課長 小西 一幸
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区飯田橋1丁目4番1号
【電話番号】	03-3263-4444
【事務連絡者氏名】	経理部経理課課長 小西 一幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期第1四半期 連結累計期間	第57期第1四半期 連結累計期間	第56期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	199	183	716
経常損益(百万円)	13	5	27
四半期(当期)純損益(百万円)	12	1	22
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	14	0	31
純資産額(百万円)	374	387	391
総資産額(百万円)	490	502	489
1株当たり四半期(当期)純損益金額(円)	3.61	0.32	6.66
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	76.3	77.1	79.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、前期の大幅増収の反動減は若干に留まったものの、円安が輸入商品の採算を大幅に悪化させたことから売上高183百万円（前年同四半期比8.1%減）、営業損失6百万円（前年同四半期は営業利益15百万円）、経常損失5百万円（前年同四半期は経常利益13百万円）、四半期純損失1百万円（前年同四半期は四半期純利益12百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

飲料事業

麦茶はほぼ前期並みの売上高を維持し、杜仲茶もテレビの健康番組での紹介を受けた一時的な売上増があったものの、前年同四半期は出荷調整を行う程の好調であったごぼう茶の売上が落ち着きを見せてきたことから、飲料事業全体では売上高95百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。

損益面でも、ごぼう茶の好調が損益に好影響を与えていた前期には及ばず、営業利益19百万円（前年同四半期比8.0%減）と減益になりました。

珍味事業

駄菓子やディスカウント店向けを中心としたOEM商品が堅調だったものの、自社ブランド商品がスーパー等小売店の独自ブランド(PB)商品等との競合が厳しさを増したことから、売上高86百万円(前年同四半期比1.7%減)となりました。

損益面では、主要原料調達・製造子会社とも海外に依存する純輸入商品である当社ビーフジャーキーは昨秋以降の円安傾向が、損益を大幅に悪化させました。輸出入採算の悪化に対する対策は適宜行っておりますが、当社と生産子会社の決算時期が異なり、特に当四半期会計期間は、生産子会社においては値上げ等による輸出採算改善前、当社においては値上げ後の輸入採算悪化後の決算を集計している影響もあり、営業損失4百万円(前年同四半期は営業利益15百万円)となりました。

その他

だしのもととは堅調であったものの、業務用ナルトの売上が大幅に減少し、売上高1百万円(前年同四半期比30.5%減)となりました。損益面では、売上が低いながらも着実に利益を計上し、営業利益0百万円(前年同四半期比61.7%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、主に麦茶に起因する売掛債権と買掛債務の増加等により、総資産は502百万円(前連結会計年度末は489百万円)、負債は115百万円(前連結会計年度末は98百万円)となりました。純資産は387百万円(前連結会計年度末は391百万円)となり、自己資本比率は77.1%(前連結会計年度末は79.9%)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	3,390,000	3,390,000	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	単元株式数1,000株
計	3,390,000	3,390,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	3,390	-	300,000	-	-

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,384,000	3,384	-
単元未満株式	普通株式 5,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	3,390,000	-	-
総株主の議決権	-	3,384	-

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の 氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式 数(株)	他人名義 所有株式 数(株)	所有株式 数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
石垣食品株式会社	東京都千代田区飯田橋1丁目4番1号	1,000	-	1,000	0.03
計	-	1,000	-	1,000	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,646	83,317
受取手形及び売掛金	115,610	133,855
商品及び製品	64,630	67,590
原材料及び貯蔵品	29,520	39,398
その他	3,662	5,092
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	317,069	329,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,893	55,099
機械装置及び運搬具(純額)	19,969	20,010
土地	47,780	47,780
リース資産(純額)	-	2,677
その他(純額)	1,846	2,047
有形固定資産合計	125,489	127,615
無形固定資産		
リース資産	-	9,495
その他	15,581	16,897
無形固定資産合計	15,581	26,392
投資その他の資産		
投資有価証券	22,105	11,892
その他	9,451	7,564
投資その他の資産合計	31,557	19,456
固定資産合計	172,628	173,465
資産合計	489,698	502,719

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,933	62,005
リース債務	-	2,519
未払法人税等	3,560	754
賞与引当金	4,306	991
未払金	24,275	28,307
その他	6,334	8,489
流動負債合計	94,410	103,067
固定負債		
リース債務	-	10,543
繰延税金負債	3,927	1,593
固定負債合計	3,927	12,137
負債合計	98,337	115,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	53,293	53,293
利益剰余金	44,486	38,992
自己株式	782	782
株主資本合計	396,996	391,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,479	2,878
為替換算調整勘定	12,116	6,867
その他の包括利益累計額合計	5,636	3,989
純資産合計	391,360	387,514
負債純資産合計	489,698	502,719

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	199,213	183,171
売上原価	113,247	121,896
売上総利益	85,966	61,275
販売費及び一般管理費	70,364	67,357
営業利益又は営業損失()	15,601	6,081
営業外収益		
受取利息	34	7
受取配当金	178	174
為替差益	-	349
雑収入	0	45
営業外収益合計	213	577
営業外費用		
支払利息	-	30
為替差損	2,075	-
雑損失	122	9
営業外費用合計	2,198	39
経常利益又は経常損失()	13,617	5,544
特別利益		
投資有価証券売却益	-	4,894
特別利益合計	-	4,894
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	13,617	649
法人税、住民税及び事業税	1,374	439
法人税等合計	1,374	439
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	12,242	1,088
四半期純利益又は四半期純損失()	12,242	1,088

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	12,242	1,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	249	3,601
為替換算調整勘定	2,816	5,249
その他の包括利益合計	2,567	1,647
四半期包括利益	14,809	558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,809	558
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	473千円	497千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	3,858千円	2,728千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は平成24年6月28日付で、欠損填補のため、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行っております。この結果、当第1四半期連結会計期間末における資本金が300,000千円、資本剰余金が53,293千円、利益剰余金が34,136千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

平成25年6月27日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 4,404千円

1株当たり配当額 1.3円

基準日 平成25年3月31日

効力発生日 平成25年6月28日

配当の原資 利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書計上額
	飲料事業	珍味事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	109,046	88,176	197,223	1,990	199,213	-	199,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	109,046	88,176	197,223	1,990	199,213	-	199,213
セグメント利益	21,430	15,910	37,341	503	37,844	22,242	15,601

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナルト事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 22,242千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用22,242千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書計上額
	飲料事業	珍味事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	95,136	86,651	181,787	1,383	183,171	-	183,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	95,136	86,651	181,787	1,383	183,171	-	183,171
セグメント利益又は セグメント損失()	19,724	4,140	15,583	192	15,776	21,858	6,081

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナルト事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失()の調整額 21,858千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用21,858千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額()	3円61銭	0円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	12,242	1,088
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()(千円)	12,242	1,088
普通株式の期中平均株式数(株)	3,388,221	3,388,221

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

石垣食品株式会社
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員 公認会計士 村本 泰雄 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 辻村 茂樹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている石垣食品株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、石垣食品株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。